

KN グローカルリサーチレポート

2017年10月
No.18

秋らしくなってきました。ここ数日は、金木犀のほのかな香りに包まれます。金木犀の花言葉は「謙虚」、「気高い人」……。



浜松市の決算 実質収支=69億円、単年度収支=▲7億円

平成28年度の浜松市の一般会計決算は、歳入が3,042億円、歳出が2,950億円で、92億円の黒字となった。翌年度繰越財源を引いた「実質収支」は69億円の黒字であったが、「単年度収支」は7億円の赤字となった。（平成27年度の「実質収支」は76億円の黒字、「単年度収支」は18億円の黒字であった）

【歳入】

市税は1,299億円（全体の43%）で前年度より7億円増えたが、国や県からの交付税や支出金も985億円と35億円増え、市債も287億円と18億円増えたため、自主財源は前年度より3.4%減少した。

【歳出】

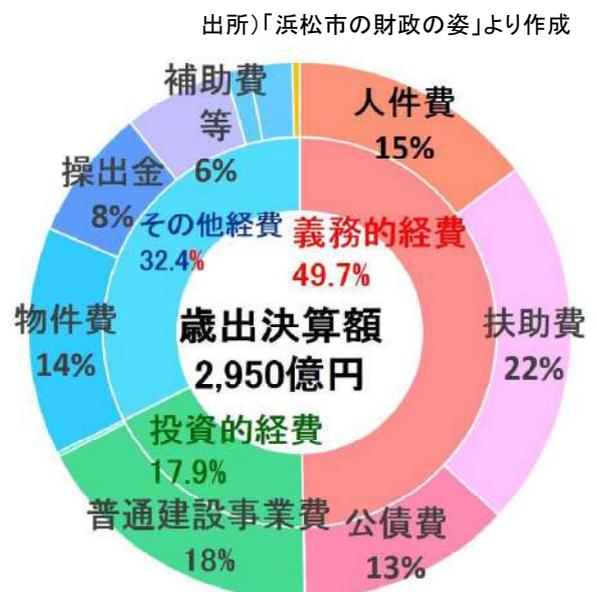
義務的経費の人件費は433億円で前年度より6億円減少したが、扶助費は656億円と38億円増えた。投資的経費の建設事業費は521億円で、小中一貫校の整備や道路の維持修繕費の増加で、前年度より39億円増えた。

■表 平成28年度 浜松市決算 単位：億円

歳入		歳出	
市税	1,299	人件費	433
手数料等	54	扶助費	656
財産収入	9	公債費	377
繰入金	72	建設事業費	521
繰越金	115	災害復旧	7
地方消費税	146	物件費	404
地方交付税	211	操出金	235
国庫支出金	465	補助費等	187
県支出金	163	積立金	41
市債	287	維持補修費	76
その他	221	投資・貸付等	14
合計	3,042	合計	2,950

出所) 浜松市の決算資料より作成

■グラフ 浜松市の平成28年度決算



出所)「浜松市の財政の姿」より作成

*****~~ バンコクの風 ~~*****

2016年10月13日、プーミポン国王が崩御されてから間もなく一年になります。今年の10月26日に火葬が執り行われる予定です(まだ火葬していないということにもビックリ!)

火葬までに、毎日大勢の人が弔問に訪れます。私たちも8月に行ってきましたが、月曜日の朝から1kmほどの行列に並び、4時間半も待っての弔問でした。これが一年間毎日行われているにもかかわらず、この行列ぶりです。改めて国民に敬愛されるプーミポン前国王の偉大さを感じました。(バンコク・影山)



信用金庫の合併

浜松信用金庫と磐田信用金庫が対等合併し、2019年の2月に「浜松磐田信用金庫」となると発表された。合併後も職員の雇用を維持するとの事で、浜松と磐田の地域に、93店舗、1,646人でサービスが展開され、地方銀行と肩を並べる強力な信用金庫となる。

一方で、1990年代からの相互銀行や都市銀行の変遷と、今後のさらなる金融のICT化を予測し、「表」の各「項目」

■表 浜松に支店を有する金融機関の概要 単位: 億円、人、店舗数 *出資金

金融機関名/項目	預金残高	貸付残高	資本金*	役職員数	店舗数
静岡銀行	94,298	79,552	908.4	2,884	200
スルガ銀行	41,054	32,537	300.4	1,567	133
★浜松磐田信用金庫	22,984	12,411	23.6	1,646	93
浜松信用金庫	15,966	8,868	12.1	1,061	59
清水銀行	13,738	10,737	86.7	951	79
磐田信用金庫	7,018	3,543	11.5	585	34
静岡中央銀行	5,801	4,792	20.0	465	46
遠州信用金庫	4,251	2,149	5.8	347	25

各金融機関の決算資料より作成(残高はH29年3月31日末残)

の数字を『他の銀行』と比べてみると、この合併により、経営の効率化と基盤強化に向けた取り組みが予想される。私たち利用者にとっては身近で使いやすい信金の一つ減るわけなので、今後の動向を注目したい。

【お役立ち セミナー】

○タイ最新投資環境セミナー

- ・日時 平成29年10月18日(水)14:00~16:30 無料
- ・会場 グランドホテル浜松 2階 飛鳥
- ・主催 浜松市、タイ投資委員会(BOI)



執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士
 (公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
 (一財)日本総合研究所 客員研究員
 浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org